



今年3月、長柄町が提案した「バイオマス産業都市構想」が、千葉県内で初めて、国から正式に採択されました。バイオマスとは、動植物から生まれた再利用できる資源のことです。長柄町には、森林からの木くず、農業で出るもみ殻、家庭や事業所からの生ごみなど、バイオマス資源がたくさんあります。これらを高品質な肥料やエネルギーとして生まれ変わらせ、環境に優しい循環型社会の仕組みを作る構想です。町の構想では、バイオマス肥料を使って特別に美味しいコメや野菜を育て、おにぎりやスムージーなどの新商品を開発・普及します。さらに、農業体験などの観光も盛り上げていきます。今後、バイオマス資源でエネルギーがつかれるようになれば、災害時の非常用電源としての活用も期待されます。